

ウラン濃縮工場

INFL

- 操業開始 1992年3月
旧型遠心機での操業規模
1,050トンSWU*/年(1998.10)
* SWU:ウランの濃縮に用いる単位
- 新型遠心機の生産運転開始(2012.3)
・生産運転 75トンSWU/年
・最終規模 1,500トンSWU/年
- 現 状
・製品ウラン出荷量 約1,702トンUF₆
(2024年4月25日現在)
・2024年度 出荷予定なし



低レベル放射性廃棄物埋設センター

INFL

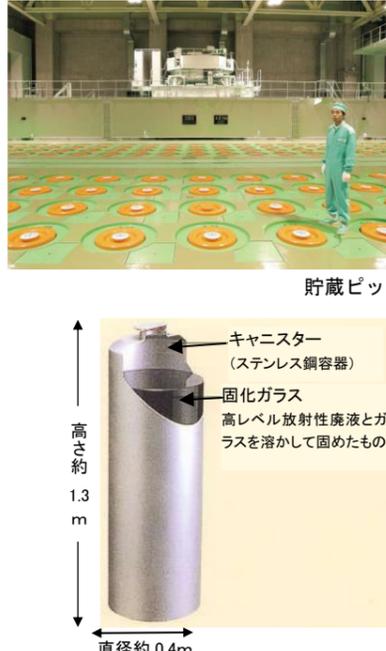
- 操業開始 1992年12月
- 施設規模 最終60万m³
(200リットルドラム缶300万本相当)
- 現 状
・受入本数(200リットルドラム缶本数)
1号埋設(均質・均一、充填固化体) 約15.9万本
2号埋設(充填固化体) 約20.3万本
(2024年4月25日現在)
・2024年度受入予定本数 14,080本



高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター

INFL

- 操業開始 1995年4月
- 施設規模
・返還ガラス固化体(キャニスター) 貯蔵容量 2,880本
- 現 状
・受入本数 1,830本 (2024年4月25日現在)
フランス分 1,310本 (フランス分終了:2007.3)
イギリス分 520本
(予定返還総数 約2,200本)
・2024年度 受入予定なし



貯蔵ピット

高さ約 1.3 m
直径約 0.4 m

キャニスター (ステンレス鋼容器)
固化ガラス
高レベル放射性廃液とガラスを溶かして固めたもの

使用済燃料受入れ・貯蔵施設

INFL

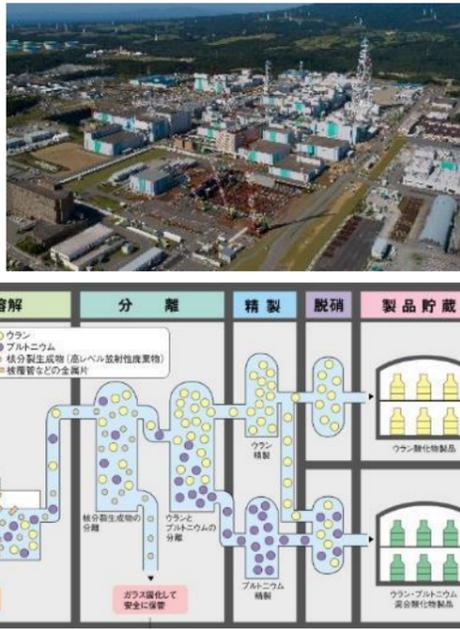
- 操業開始 1999年12月
- 受入容量 3,000トン・U
- 現 状
・受入量(累計) 約3,393トン・U
・現在の在庫量 約2,968トン・U
(2024年3月末現在)
・2024年度 受入予定なし



再処理工場

INFL

- 年間最大処理能力 800トン・U
- 総合工事進捗率 約99%
- しゅん工時期
2024年度上期のできるだけ早期
- アクティブ試験における再処理量 約425トン・U



受入れ・貯蔵 | せん断・溶解 | 分離 | 精製 | 脱硝 | 製品貯蔵

ウラン
プルトニウム
核分裂生成物(高レベル放射性廃棄物)
被覆管などの金属片

ウラン
精製
プルトニウム
精製

ウラン-プルトニウム
混合酸化物製品

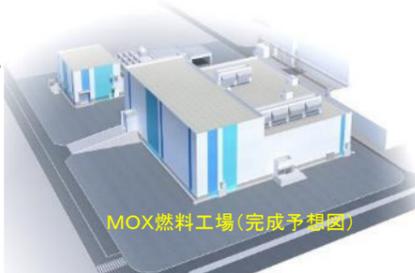
ウラン-プルトニウム
混合酸化物製品

MOX燃料工場

(MOX: Mixed Oxide Fuel 混合酸化物)

INFL

- 最大加工能力 130トン - HM*/年
*: トン-HM(トンヘビーメタル): MOX中のプルトニウムとウランの金属成分の重量を表す単位
- 要 員 操業時 約300人
- 着 工 2010年10月
- しゅん工予定 2024年度上期



MOX燃料工場(完成予想図)